

たかでらさん りょうこうじ
高寺山量興寺

妙見山を背景に、田園の木立に囲まれてお寺は佇んでいます。山門脇には大きな銀杏がそびえ、春の新緑、夏には蓮の花、秋の黄葉と美しい姿を見せてくれます。仲秋には『名月の宴』が催され、琴の音に幽玄な月見の宴が演出されます。

寺の山号にもあるように古代寺院『多哥寺』の旧地にあり、中門・塔・金堂が一直線に立つ“四天王寺式”の伽藍配置が発掘調査により確認されています。境内には名残の“塔の礎石”が現存し、当時の姿を思うことが出来る静かなたたずまいの場所です。

ありし日の事を忍びつつ、本堂の仏様に諸々の願いを祈願し、心静かに過ごせるお寺です。

ひがしやまこふんぐん
東山古墳群

東山古墳群は、標高 693m の妙見山を背に、中区の大半が見下ろせる小高い位置に、大小 16 基の古墳から成り立っています。(発掘調査では 206 基が確認されている) 築造されたのは、今から 1400 年前のこと。このころは現在の多可町中区、当時の那珂には郡役場がおかれ、郡の中心として栄えていました。ここの古墳に葬られているのは、当時の重職者たちではないかと考えられます。

1号古墳…墳丘の直径が約 30m の円墳。現存する横穴式古墳で、石室内に入れるのは兵庫県下最大級で、その長さは 12.5m もあります。

15号古墳…ここでは二つの木棺が追葬された形で出てきています。また、漆塗りの長さ 56.9cm、柄は布を巻いた上に漆を塗り、金具が鉄地銀張りの太刀もみつかりました。正倉院に収められている黒塗りの太刀と様式が似ており、その上、新式の高級品であることから、被葬者は中央政権との関係が伺われる重要なものです。

12号古墳…この古墳の石室は「持ち送り」という技法で、石が上に行くほどせり出してくる形をし、中から、全国的にも非常に珍しい特殊な形をした陶棺が出土しています。

アクセス



「のぎくバス・神姫バス」の量興寺、最寄りバス停は、アスパル・天田・鍛冶屋です。時刻表他お問い合わせは、多可町役場 Tel: 0795-32-4779

- 北はりま田園空間博物館 総合案内所へは
 - ・中国自動車道滝野・社インターからR175を北へ車で約 20 分
 - ・JR加古川線「日本へそ公園駅」から徒歩約 20 分
- 高野山真言宗 高寺山量興寺(多可町中区天田)へは
 - ・R175、上戸田南信号よりR427で13Km車で約 20 分
 - ・田園空間博物館より畑瀬橋信号西へR427を経て13Km車で約 20 分
 - ・JR西脇市駅より「のぎくバス」「神姫バス」の便があります。

くわしくお知りになりたい方は

北はりま田園空間博物館発行「まるごとガイド」「北はりま魅力探訪紀行第2集」「でんくうガイドマップ」、または、ホームページをご覧ください。

お問い合わせ

NPO 法人 北はりま田園空間博物館*

〒677-0022 兵庫県西脇市寺内 517-1

TEL: 0795-25-2370 FAX: 0795-22-2123

URL: <http://www.k-denku.com>

E-mail: jk@k-denku.com

北はりま
田園空間
博物館

- ・営業時間：9時～19時(11月～2月は9時～18時)
- ・年末年始以外無休

ぶらぶら探検マップ

気軽に楽しめる半日コース No4

高寺山
量興寺周辺

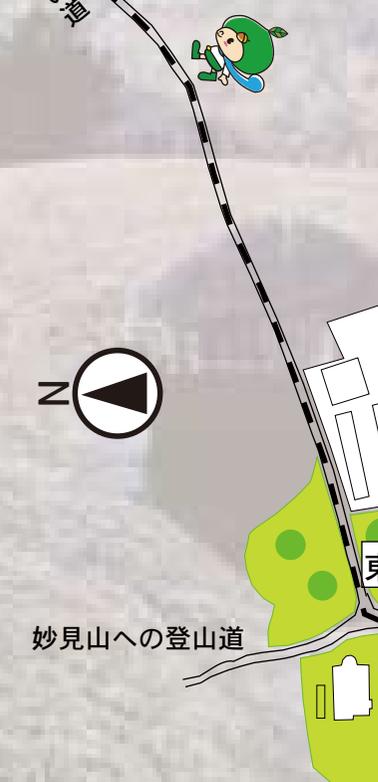


高野山真言宗高寺山量興寺

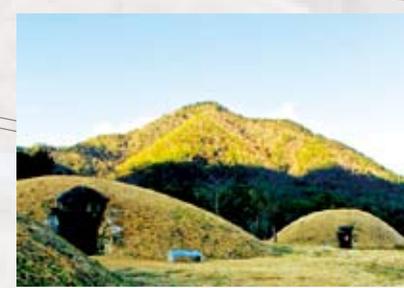
NPO 法人
北はりま田園空間博物館*

北播磨余暇村公園
 妙見山麓に広がる自然の中の公園、特に秋の紅葉は素晴らしくもみじ祭りも開かれます。

13ヶ所ある園内にはスカイローダーを初めとする遊具がそろい、また生野鉱床帯に属する銅精錬所跡の展示館もあります。園内のココ罗那珂では宿泊設備も整い地元産食材にこだわった食事やコーヒーも楽しめます。



八幡神社 (湯立て神事)
 1月中旬の日曜日の午後になると、白装束に身を包んだ巫女さんが雅楽吹奏の中、煮えたぎっている大釜の湯に笹の枝をつけ周囲を取り囲む村人に浄めのお祓いと五穀豊穡、無病息災を祈願いたします。



16号古墳と妙見山



大歳金刀比羅神社一の鳥居より参道
 年内最後を彩る金刀比羅祭りは姫路の総社祭り、北条の節句祭りと併せ播州の三大祭りとして賑わっていました。大歳神社は慶長年代以前からの存在したと伝わりますが、寛政六年(1795年)地元藤井孫右衛門が病氣平癒の為四国讃岐金比羅神社を勧請したと伝わります。



まちの駅たか
 ※特産品販売所
 量興寺まで400m

